



津幡南中だより

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粹さ ☆たゆみない向上心

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和7年10月3日(金) 特別号

令和7年度の学力調査結果を受けて

4月に3年生は「全国学力学習状況調査」・「県基礎学力調査」、2年生は「町学力調査」を実施し、8月下旬に結果が届きました。その結果と今後の対策についてお知らせします。

〔実施された学力調査〕

全国学力・学習状況調査：3年〔国語・数学・理科〕

県学力調査：3年〔社会・英語〕

町学力調査：2年〔国語・社会・数学・理科・英語〕

〔学力調査の結果〕

下記表中の印（○○□△▲）は、本校の平均正答率を、国や県の平均正答率と比較したものです。

○…高い（+5ポイント以上） ○…やや高い（+2.0～+4.9ポイント） □…ほぼ同じ（-1.9～+1.9ポイント）

△…やや低い（-2.0～-4.9ポイント） ▲…低い（-5ポイント以上）

		国語	社会	数学	理科	英語
3年	国との比較	□	△	○	□	△
	県との比較	□	△	△	□	▲
2年	国との比較	○	○	○	○	○

以上のように、学力調査結果から見た本校生徒の学習状況は、国との比較では概ね良好です。県との比較では、県平均とほぼ同じという結果でした。問題ごとに分析した結果、領域や分野別に課題も見つかり、2学期からは下記の取組に力を入れています。

◇教科別の傾向と対策

【国語】

- 問題文に対して適切な考え方をする力に課題が見られた。複数の資料の活用が求められる問題に対しても、自分の考えを正確に文章に表すことができていなかった。文章の読み取りと、自分の考えを文章にまとめる力を授業の活動で身に付けていく必要がある。
- 条件を付して解答を求める場面を設定し、それに即したまとめを書かせる場面や、比較・取捨選択・関連させることのできるような資料を提示した場面を設定した授業を計画的に行う。

【社会】

- 歴史的分野では、戦いの結果が社会に与える変化や影響を考える力に課題が見られた。地理的分野では、地図を用いて多様な視点で地域の変化や課題をとらえる力に課題が見られた。
- 複数の資料を活用する場面をつくり、それぞれの資料から読み取れることを整理したり、比較したりして、自分の考えを文章に表す活動を実施する。

【数学】

- 文章や資料を読み取り、自分の考えを構築する力に課題が見られた。証明問題や説明問題において、問題文を正しく読み取り、何を答えればよいかをとらえる力が身に付くように、章の導入の際の説明問題を丁寧に取り組むようとする。
- 自分の考えを表現する力に課題が見られた。特に教科の用語を適切に活用して、文章で表現する場面が不足していると考えられる。数学の用語を適切に活用し、説明をする場面を授業の中でつくるようにする。

【理科】

- 理科用語等、基本的な知識の定着が十分ではない。知識を身近な現象と関連付けて説明する場を設定し、その内容を検討する。
- 解決の方法を発想し、正しく表現する力が不足している。解決の方法を立案する場を設定するとともに、不十分な方法を示し、妥当性を考えさせる。

【英語】

- 書かれた内容に対して、自分の考えを上手く示すことに課題が見られた。話の内容や書き手の意見を適切にとらえ、それに対して自分の考えを単文で示す活動を行う。
- 相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や意見を述べることに課題が見られた。やり取りの中で問答したり意見を述べたりする活動を行う。